

とです。修理とか修繕とか、大型の修繕なんかは、お風呂のお湯ですね、湯の元がなくなる、枯渇してしまうという意味で、私もう、ちょっとごめんなさい、はしょってしまったんで、市長に大変ご迷惑かけたんですが、そういう意味なんです、すみません。

議長（倉又 稔君）

以上で反問を終了いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

お答えいたします。

温泉に限らず、全て大規模改修のときにまた、やはり市民の皆様方、議会の皆様方に当然、また相談をさせていただくわけでありますが、大規模改修という形になればまた、やはり議会の承認は必要となつてまいるわけでございますので、その都度お話をさせていただきますし、普通の運営に関する部分については指定管理の中で捉えさせていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

笠原議員。

2番（笠原幸江君）

これで、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

議長（倉又 稔君）

以上で、笠原議員の質問が終わりました。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。〔7番 田中立一君登壇〕

7番（田中立一君）

市民ネット21、田中立一でございます。

発言通告書に基づいて一般質問をさせていただきます。

1、動物愛護について。

現在日本は、空前のペットブームと言われております。

ある団体の2015年の調査では、全国で犬1,034万6,000頭、猫995万9,000頭と、犬と猫だけで2,000万頭以上飼われていると言われております。

実際、私たちの周りにも、日常その愛らしい姿を見受け、癒やされているわけでありますけれども、ブームの陰にまた、さまざまな課題もございます。

新潟県では、人と動物が共生する心豊かな社会の実現に向け、新潟県動物愛護管理推進計画を策定し、徐々に成果が見られてきたところであります。

各地で人と動物の共生、動物による地域活性化などが見られる中、糸魚川市におけるペットの現状や課題、観光面での今後の対応、災害時の動物救済体制などについて、整備も含め考えを伺いま

す。

- (1) 市内の犬猫殺処分の状況と対応について。
- (2) 観光施設でのペット対応について。
- (3) 同伴避難について。

2、えちごトキめき鉄道と北陸新幹線の現状と課題、観光振興について。

- (1) えちごトキめき鉄道について。

サイクルトレインについて。

3月に行われた実証実験の結果と課題、日本海ひすいラインでの実証実験から本格実施に向けて、駅やサイクルロードの整備など、市の対応について伺います。

通学時間帯の混雑解消について伺います。

リゾート列車「雪月花」運行開始による観光振興策について伺います。

- (2) 北陸新幹線について。

夏の繁忙期に向けて、糸魚川駅の利用促進策と観光振興について伺います。

騒音対策の現状について伺います。

3、新規就農、担い手育成について。

- (1) 農福連携について。

農業分野と福祉分野が連携しての取り組みが注目されています。

当市においては、早くから施設内での養鶏などが行われておりますが、今後の農福連携についての考えを伺います。

- (2) 農業技能実習生の受け入れ状況について。

農業を職に考えている人や農業体験を希望する研習生の受け入れは、農家にとっても貴重な戦力であり、将来の新規就農や担い手育成にもつながる可能性があります。

一方で受け入れ農家を初め、課題もありそうですが、市内の現状を伺います。

4、権現荘の経営計画について。

平成28年度がスタートして2カ月が過ぎ、この間ゴールデンウィークもありました。予算審査及びその後示された権現荘経営計画について、その取り組み状況を伺います。

- (1) 利用者、収入増に向けた取り組みについて。

利用客から宿泊料金を決めてもらうフリープラン「権現プラン」について。

柵口温泉郷各旅館を初め、観光施設等との連携強化について。

売店の改善について。

- (2) 経費節減の取り組みについて。

原価管理システムの活用と原価率について。

収支の状況について。

労務管理について。

以上、1回目の質問をお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

田中議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、犬猫の殺処分は近年減少しており、平成27年度は8件となっております。今後も適正な飼育方法を周知する中で、減少に努めてまいります。

2点目につきましては、観光施設へのニーズが高まってきていると感じております。市の施設では、神道山公園にドッグランがありますが、今後もそれぞれの施設にあって、取り組みが進むように努めてまいります。

3点目につきましては、地域防災計画の中で指定避難場所は、動物同伴の避難者を受け入れられるよう配慮することといたしております。

2番目の1点目の1つ目につきましては、3月に、妙高はねうまラインで行われた実証実験では、5日間で10名の利用者が報告されており、日本海ひすいラインにおいても実証実験を予定いたしております。また、サイクルロードにつきましては、県と一緒に検討しております。

2つ目につきましては、今年度、乗降者数の調査を2回実施し、朝の混雑状況を確認しており、引き続き混雑時の車両増設等について要望してまいります。

3つ目につきましては、雪月花の乗客に対して当市の見どころのリーフレットを配布し、到着後の市内回遊を促すよう努めております。

2点目の1つ目につきましては、夏休み期間中、半日観光バスの運行及びマリンドリームと親不知ピアパーク・レンガトンネルなどを往復するバスを運行いたします。糸魚川駅からの2次交通を充実させることにより、観光振興につなげたいと考えております。

2つ目につきましては、鉄道・運輸機構において柱道・梶屋敷地区のトンネルの出入り口の緩衝工窓の閉塞工事を終了し、今後、騒音レベルの高い地区では吸音板設置等の音源対策工事を実施することとなっております。また、当該する住宅の防音工事の補償も進めております。

3番目の1つ目につきましては、担い手の高齢化と減少が進む農業分野と、障害のある方の働く場を求める福祉分野の連携は、持続可能な暮らしやすい地域づくりに向けて、大変重要な取り組みであり、今後も推進してまいりたいと考えております。

2点目につきましては、昨年度は短期・長期を含めて6名の方を受け入れております。研修希望の多い園芸・果樹農家が市内に少ないこと等の課題はありますが、6名のうち5名が、今後、農業に携わる予定であります。

4番目の1点目の1つ目につきましては、お客様から料金を決めていただき、料理内容を権現荘にお任せいただくプランであり、4月以降の注文実績は70人です。

2つ目につきましては、柵口温泉郷でのご利用いただける「湯めぐり手形」、アンコウやセイカイなど季節プランを共同で企画いたしております。

3つ目につきましては、リニューアル前と比べ、ゆったりとしたスペースを確保し、商品の種類も増しております。さらに海洋高校を初め、地元産品を陳列した地元コーナーを設置いたしており、糸魚川の魅力を生かした売り場づくりに努めております。

2点目の1つ目につきましては、本年2月から料理プランごとの原価管理に取り組んでおり、4月、5月の実績は45%を下回っております。

2つ目につきましては、目標として掲げる入り込み客数及び収入には達していませんが、運営

収支におきましては、当初の計画に近い数字を達成いたしております。今後も、平成28年度の設定目標に向けて努力してまいります。

3つ目につきましては、6月までにフロント1名、厨房2名の職員を採用いたしております。時間外勤務時間の削減や休日の確保など、適正な労務管理に努めてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

まず、動物愛護についてお願いします。

ペットは家族の一員、またペットは人生のパートナーとして、動物に癒やしを求める方が非常に多くおられ、またふえておられます。

一方、不適切な飼育によるトラブル、遺棄や虐待などの問題もあり、動物行政の課題は多様で複雑になったことから、新潟県動物愛護管理推進計画が策定されたところでもありますけれども、その成果で犬猫の2015年度の殺処分、先ほど市内の状況を伺いましたけれども、県内においても半減の効果があらわれてきているところでもあります。

市内が先ほどの答弁で8件ということでもありますけれども、これらの取り組みにおいて県や、あるいは関係団体との連携はどのようにされているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長（五十嵐久英君）

お答えします。

やはり今現在、新潟県内、糸魚川市内もそうなんですけれども、殺処分が減ったという1つの大きな原因は、やはり保健所のほうで、とにかく飼ったら終生そのペットを育てるんだよということを、強く指導しているという部分大きいというふうに聞いております。そういう部分で、県の動物愛護センターもそうですし、当市のほうもそうなんですけれども、その部分を特に強調しながら、動物を1回飼ったら一生飼うんだという部分の啓発を、連携しながら進めているというところがございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

その連携のあり方を伺っているんですけれども、どのように、例えば会議の持ち方とか、あるいはどういう団体と連絡をとり合って、どういう行動をやっているか、そういったことを伺いたいんですけれど。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長（五十嵐久英君）

その連携という部分では、やはり広報等でこういうものを載せてくださいとかという部分の連携だけで、具体的にそういう動物愛護とか動物保護行政については、県の分野でございますので、市のほうとしては県のほうの要請なりで広報をしたり、また独自に狂犬病の予防注射のとき等に啓発するような広報等を配るということで、具体的にこの分野に関しては密に連携しているかという、そういう部分ではなくて、お互いにそういう要請を受けながら啓発事業に取り組んでいるという現状でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

じゃ、もうちょっと具体的な話をさせてもらいますけれども、県のほうの計画では、広く県民に理解と協力を得られるようさまざまな方法を、機会を通じて周知に努めるとともに、行政の動物愛護管理体制の充実を図って、市町村関連団体と連携によって、計画の実現を目指すというふうになっているわけなんですけれども、基本的な方針の中での1番目として、教育活動の充実ともあるんですけれども、生命を尊重する教育の推進、これは動物等を愛護の中で、教育の分野ではどのようにされているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

山本こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 山本 修君登壇〕

教育委員会こども教育課長（山本 修君）

お答えいたします。

一貫教育の方針では、豊かな心の育成をうたっております。豊かな心の育成で道徳の時間、また総合学習の時間、生活科等で子供たちには生命の大切さについて、教えているところであります。生活科では実際に小動物を飼ったりして、動物の命の大切さということを体験的に学習をしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

学校でそのように子供たちは触れ合って教育をされているということですね。

2本目の柱が適正飼育の推進なんですけれども、それまた具体的に見ますと、適正飼育の普及啓発、動物愛護推進委員の育成、不適正飼育トラブルの減少なんですけれども、不適正飼育のトラブル、どんなものが、いろいろと考えられるわけなんですけれども、そういったものはどのようなものがあり、またそういう情報というのは把握はされているのでしょうか。それとも、これもやはり

県の仕事になっていくんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長（五十嵐久英君）

不適正飼育といいますと、主に飼う能力がないのに多頭飼育というか、そういうもの等が考えられるというふうに思いますけども、市のほうではそのような実態、苦情等については当課のほうでお受けしているところでございますが、市全体の状況については、市のほうでは把握しておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

先ほどから聞いていると、これは県とのいろんな指示というか、そういう中で行っているというように見受けるわけなんですけれども、3番目が愛護精神の普及ということであるわけなんですけれども、県のほうでは不妊や去勢の手術の補助を行って、その周知を図ろうとしているわけなんですけれども、その成果もあってまた、先ほどの件数にもなってるんじゃないかなと思うんですが、市のほうでは、このことについての対応というのはいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長（五十嵐久英君）

県のペット、犬と猫に対する不妊治療の助成制度でございますけども、これについては、飼い主のいない犬なり猫について不妊治療をした団体なり個人について、助成をするという制度でございます。ですから、自分の飼っているペットを不妊したからといって、助成の対象になるというものではないんですけども、そういうのでは県のほうでこういう制度をつくっていただいているとおるんですけども、市のほうではパンフレット等は窓口等に置く部分もありますけども、特に積極的に、これについて広報しているという部分はございません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

岩崎市民部長。〔市民部長 岩崎良之君登壇〕

市民部長（岩崎良之君）

先ほど、市内の犬猫の殺処分8件ということで報告ありましたが、たしか1件犬で、残りは猫でございまして、猫の県内のやはり苦情とかの問題事項は、やっぱり放棄猫というか、が問題になっておりまして、そういうことから県のほうでことしから、さっき言った野良猫の不妊・去勢手術について、新たに雄は5,000円、雌は1万円ですか、を新たに始めましたので、その普及について、周知等をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

そうですね、そういう補助、雄が5,000円、雌が1万円、確かにありますわね。多頭飼育になって、先ほどの話でもありましたけれども、今度、本当に犬猫がかわいそうな目になっていくわけですし、また飼い主等、あるいはそれを管理している人も、今度、非常に負担が大きくなっていくわけですので、なるべくいろんな形で周知して、こういったものを使えるようになったらいいなと思います。

犬、特にですけれども、予防接種の状況等ですけれども、予防注射の接種率というのは上がってきているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長（五十嵐久英君）

平成27年度の状況で言いますと、犬の登録数が1,725頭中、予防接種を打ったよというふうなところが1,514頭だったかと思います。それで、その前の年が、平成26年度が1,730頭の登録のところ、1,589頭ということで、大体90%の前半台、その前5年間も大体そんな傾向で、このところ特に、狂犬病の予防接種の率が上がったということではなくて、横ばいという現状でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ちょっとわからないのが、この90%という数字は、果たして高いのか低いのかなんですけれども、その辺の判断というのはいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

岩崎市民部長。〔市民部長 岩崎良之君登壇〕

市民部長（岩崎良之君）

県のほうでの接種率ですが、平成18年が90.6%でしたが、その後下降傾向にございまして、最近の数字を聞いたら、平成24年度が88%ということですので、それよりは上回っておりますが、やはりまだまだ周知していく必要があるというふうに感じています。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

頭数が多いので10%のされていないというのは、またいろんな事件も考えられますし、なるべ

く普及のほうに努力をお願いしたいと思います。

もう1点、ペットの葬儀なんですけれども、家族の一員として、もう本当に手厚く扱いたいという方がふえているわけですね。市内でのペットの葬儀事情というのは、把握されていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長（五十嵐久英君）

市内では1件、葬儀といいますか、ペットを火葬するということは承知しておりますけれども、いわゆる葬儀の儀式というか、セレモニーをできるところがあるかどうかということについては、把握をしておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

どこまでというところもあるかと思うんですけれども、中には市内では少し負担が高くて、上越のほうに持ち込む、あるいは持っていくという話も聞いたりします。果たしてこれでいいのかなというところもあるわけなんですけれども、その辺のことはご存じでしょうか。また、もしご存じでしたら、その辺の認識等はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

お答えいたします。

承知しております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

だんだんこういうものも話が広まっていくと、だんだんまた、かなりの方々のように流れていっているわけなんですけれども、それと同時に要望として、市内でやはりそういう、例えを言うなら火葬がもっと身近にできる、負担も少なくできる、また手続等も、こういうものの手続というのがどうなるのか、私も詳しいことはわかりませんが、火葬にして負担が少なく、手厚く葬れる、そういうのを市内で考えられないだろうかと思うわけなんですけれども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

岩崎市民部長。〔市民部長 岩崎良之君登壇〕

市民部長（岩崎良之君）

すみません、その辺について、さっき市長もおっしゃいました上越のほうでということは聞いたこともございますし、市内で実際、対応していただけたところもあるというふうに聞いておりますが、実際の詳しい内容については、ちょっと把握しておりませんので、その辺について調査させていただく中で、上越のほうもどのような状況かも確認させていただきたいと思います。それで検討させていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

1つ、こういうふうにしてもらえたらうれしいなといいたいでしょうか、ありがたいという話の中で、新しくなった市の斎場の一角に、そういうのを設けることはできないものだろうかという話もあります。そういったことをまた、検討材料の中に加えていただけたらと思いますので、よろしく願いして、観光施設でのペット対応になります。

今、ドッグランが市内では1カ所と。これからということなんですが、何か具体的な考えがあったら、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

今、海の魅力アップ推進計画の中では、マリンドリーム能生でのドッグランの検討といったことを位置づけております。可能かどうか、今後、調査・研究する中で取り組んでまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ペットとの共生という中でいろいろと出歩くのに、ペットを連れて歩きたいというのは当たり前ニーズになってくるかと思えます。ただ、観光地等では、多様なお客様相手ということもあって、入店や入館規制というのも理解のできる話なんで、その辺との兼ね合いが非常に難しいところがあるかと思うんですけども、これだけニーズが今、高まってきているというのもあるので、逆にこういったことがある、そこを目的に行くというのも多々あるというふうに聞いております。

今、マリンドリーム、海というのが、山のほうでも1カ所なんですけれども、ドッグラン以外にも、何かいろいろと考えられるものはあるんじゃないかなと思うんですけども。

それと、時間が長くなるとあれなんですけども、ペットの宿泊等ということについての理解、あるいは進め方というのは、どのように考えているか、あわせてお願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

市内の状況でありますけども、ふんの始末等ができれば問題ないよという観光施設もある一方で、小型犬の場合はキャリーケースへ、あるいは抱っこしてというのならオーケーだよと。一方で、盲導犬だけだよといったところもあります。こういったところは基本的に、今、田中議員おっしゃいますように、社会の中で、日本の中でペットブームだと。ペットを受け入れることによって、それが商売につながっていくんだと、入り込み客ふやすんだということ、私ども、積極的にPRしていきたいなというように思っています。

それから、宿泊の関係なんですけども、全国的に見てペット同伴だけの、例えば棟があるとかいったような取り組みもありますんで、そういった情報を提供する中で、こうやればペットブームに乗りおくれなくて、宿泊客数の増につながることもあるよといった情報の提供に努めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今回、これを取り上げて、いろいろと動物愛護からペットの対応、観光対応、本当にいろいろと、主に犬猫を中心に話をさせてもらったんですけども、きょうはそれで終わる予定だったんですけども、例えばニシキゴイなんかすごく、海外でもブームになっているところなんですけれども、鬼伏にある上越錦鯉の共販センター、あれ、聞いたところによると、県内では共販センターというのは、あそこともう1カ所の2カ所だけだそうですね。そういったことを考えると、非常に貴重な観光資源になるんじゃないかなと思うわけなんですけれども、観光面ということで、今その辺の考えはどうなんでしょうか、あるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

内水面を担当しております商工農林水産課のほうで、お答えを申し上げます。

共販場所は、今、議員おっしゃったとおりでございますし、また最近、ニシキゴイが輸出されて非常に日本のニシキゴイに対して、外国人の方が興味を示されていて、新潟県内のニシキゴイもかなり輸出をされておるとい状況でございます。

今、当課におきましては、糸魚川市でやはり、マリンドリームに年間、数多くの来訪者がおられますので、そこでもう少しニシキゴイというものをPRしていく必要があるのかなというところは、担当レベルで考えておりますけども、まだ、具体的に取り組んでおりませんが、そのような方向も実施していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

補足させて、お答えさせていただきます。

非常に今、ご指摘の点、我々も非常に大切に思っているわけございまして、先人の皆様方がそうやってつくっていただいた施設については、非常に大切に捉えておるわけございまして、何とか支援をしながら、また、鯉についても、今少し減ってきておるんですが、我々のやはり農業という形の中で生かしていけないか検討していきたいと思っています。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ちょっと角度は違うんですけども、上越漁協の競りが、最近すごく人気があるようにも聞きますけれども、そういう共販センターでの競りの様子、そういうものもすごく魅力のあるものなんじゃないかな、と言う私もまだ1回も見ただけではないので、申しわけないんですけども、そういったものを動画等で許せるものならということはあるんですけども、やって普及していったらまた、ニシキゴイの生産といったらいいんでしょうか、繁殖といったらいいんでしょうか、そういうものは非常に難しいところはあるんでしょうけれども、やり方によっては耕作放棄地対策、あるいは6次産業化の1つにもつながるんじゃないかなと。そういう観点での検討というものも考えてもらいたいんですけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

今、議員、お話がありました点と、市長の答弁の中におきましても、生産がやはり減ってきております。農地の部分につきましては、耕作放棄地もふえてきてるわけでありますので、担い手の確保と生産する現場についてはあるわけございまして、それと観光とマッチングをする、縦軸でなくて横軸の事業連携も、参考とさせていただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

よろしく申し上げます。

2番に入らせていただきます。2番の1、サイクルトレインですけども、5日間で10人。ちょっと期待はしてたんですけども、少ないのかなという印象で、そういう印象を受けると、今後の推進に影響があるのかどうか、この辺の捉え方なんですけれども、市のほうではどのように捉えていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

見辺建設課長。〔建設課長 見辺 太君登壇〕

建設課長（見辺 太君）

お答えします。

3月に実証実験を行いました。3月14日から3月18日の平日のみの5日間ということでご
ざいまして、さらにその2日間は雨で利用者がなしということがございます。そういった中から、
実験の回数としては、もう少し回数を踏まなければいけないのかなというふうに考えております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ちなみに、この10人はどういったところから来られて、おりた後は、どういう行動をされるの
かの調査が、もし、されているなら教えてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

見辺建設課長。〔建設課長 見辺 太君登壇〕

建設課長（見辺 太君）

お答えします。

すみません、そこまで細かい情報というのは、えちごトキめき鉄道のほうからございませんでし
た。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

サイクルトレイン、沿線住民の生活の足、あるいは観光客にとって列車の2次交通、利用者がふ
えることが見込まれると、私も期待をしてこれを聞いているわけなんですけれども、日本海ひすい
ラインも、これからも実証実験を行う予定ということなんです。もう少し具体的に情報があつた
らお願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

見辺建設課長。〔建設課長 見辺 太君登壇〕

建設課長（見辺 太君）

お答えします。

えちごトキめき鉄道のほうからは、実証実験を行いたいということでお聞きしておるだけでござ
いまして、今後また、えちごトキめき鉄道のほうとお話をしながら進めてまいりたいというふうに
考えております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

えちごトキめき鉄道は、昨年とはいいまして平成27年度は、実際の運行、電車の運行に精いっぱいでありまして、気がついたら3月になりまして、これは県からの補助事業であります、サイクルトレイン。平成27年度の補助事業なんで、やむにやまれず3月に実施をしたということでありまして。したがって、ことしはもう少し何といいまして、秋ごろの季節のいいときにやろうということ、私も考えているところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

私は、できれば夏までに実証実験をやってもらって、秋に本格導入というふうなストーリーというスケジュールというかを期待しておったんですけど、ちょっと残念であります、ひすいラインにおいては、ちょっと妙高はねうまラインとは料金がまた変わってきて、車両が1両であるわけなんですけれども、その辺の課題とそれから安全面、それからそれに対応できる駅はどうか、その辺の考えをお願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

対応する駅はやはり、何といいまして階段のないところというのが一般的でありますけども、そうしますと、日本海ひすいラインでは、非常に限定をされるということでありまして。したがって、その辺につきましても、えちごトキめき鉄道と、どの駅とどの駅ということで検討してまいりたいと思っております。

ただ、そのために職員を、きちっとまた別に1人、何といいまして配置をしなければならぬということでありまして。そういったことを踏まえまして、いつの時点でやるか、ちょっと検討させてもらいまして、またその時期につきましても、また発表させてもらいたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

よろしくお願ひしたいんですけども、駅がやはり限定的になってくると、ただ、階段じゃなくてスロープにすれば使えるという考えもあるわけで、それがどれだけ対費用効果の面でどうかということかと思うんですけども、できればひすいラインの中での主流なところを、県や、あるい

はえちごトキめき鉄道と話し合っ、整備ができるところはやってもらいたい。できるだけ早目に対応して、実証じゃなくて本格導入したらすぐに対応できるようになればいいなと思うんですけども、そのように希望、要望させてもらいたいと思います。

サイクルトレインに限らず、サイクルロードの整備なんですけれども、私も一般質問で過去に久比岐自転車道の延伸整備のことについて聞いたこともあるんですけども、延伸整備含めて8号東バイパスは一部使えて、一部使えないというような形にもなっているわけなんですけど、今後の久比岐自転車道の延伸等、あるいは今後のサイクルロードの整備等、何か考えがあれば伺います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

見辺建設課長。〔建設課長 見辺 太君登壇〕

建設課長（見辺 太君）

お答えします。

ことしから、プロジェクトチームというものをつくりまして、これは事務局が糸魚川地域振興局でございます。糸魚川地域振興局で事務局になっていただいて、建設課それから交流観光課、あるいは国道も走ったりしますので高田河川国道事務所とか、いろんなメンバーでプロジェクトチームをつくりまして、ことしから、まだ何にも決まっておらず、6月30日から第1回を始めたいということがございますけれども、ハード面・ソフト面について、いろんなことを考えていきたいということでございます。

その中で当然、今現在の久比岐自転車道は、早川右岸から郷津トンネルの西側までだと思いますけれども、約32キロございますが、それを糸魚川方面、どのくらい延ばせるのか。できれば糸魚川駅、あるいは青海駅のほうにまでできないか、今後、検討していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

観光というか交流人口の面でも期待ができるんじゃないかと思うわけなんですけれども、サイクリング。北アルプス日本海広域観光連携会議の隣接市町村の中には、かなりこういったサイクリングにも力を入れているところもあるんですけども、観光面においてこういう連携を検討するという事は考えていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えいたします。

今年度の事業ということで、北陸信越運輸局と北アルプス日本海広域観光連携会議が共同で、特に台湾からのお客さんを連れてくると。それは、今、日本でいいますと、しまなみ海道に多くの台湾人がお越しにきて、サイクリングを楽しんでいらっしやると。これをぜひ、海と山、両方楽

しめるこの地域にお越しいただきたいということで、今、取り組みを進めております。

具体的には、サイクリングロードマップの作成とか、現地の台湾のメディアに来ていただくことや、こちらから向こうへプロモーションに行くといった取り組みを、北アルプス日本海広域連携会議の市町村と北陸信越運輸局が一緒になって今、取り組んでいるところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

そうですね。この後の雪月花もそうなんですけれども、この地域のいいのは、やはり海と山を同時に得ることができる、楽しんでもらうことができることだと思います。ぜひ、こういった取り組みというものを、前向きにやっていただきたいと。課題はいろいろあるかと思いますが、よろしくお願ひしたいと思っています。

雪月花、報道では大変好調だというふうにあります。ただ、気になるのは、上越妙高から糸魚川方面への便は予約がとれないほどなんだけれども、糸魚川駅から向こうへ行くのはまだ余裕があると。この原因と対策について、どのように考えているかお願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

見辺建設課長。〔建設課長 見辺 太君登壇〕

建設課長（見辺 太君）

お答えします。

雪月花につきましては、食事の時間が、やっぱり上越から来るときにちょうどいい時間帯にセットされてございまして、ちょうど糸魚川から出てお弁当を食べるころは、おやつごろという形になっておりますので、そこら辺がやっぱりニーズに合っていないのかなというふうに考えております。

やっぱりそういった点を含めまして、時間帯を常に同じパターンにするのではなくて、いろんなパターンで土曜日、日曜日、祭日運行しているわけですから、そこら辺を考えていただいて運行をしていただくよう、また、えちごトキめき鉄道とお話をしていきたいと思っています。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

私もそれを思います。糸魚川駅の出発時間が2時10分で、これから豪華な弁当を食べるという気には、やはりならないんじゃないかなと。朝、ゆっくり起きてとかそういったことじゃないと、なかなか。そういったことに対する意見要望というのは、お客さんのほうからはないもんなんじゃないか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

見辺建設課長。〔建設課長 見辺 太君登壇〕

建設課長（見辺 太君）

お答えします。

お客さんからの直接的なご意見を、市役所のほうで受けておるといことはございませんが、そういったご不満が、こういった結果になっておるといふうに考えておりますので、また、えちごトキめき鉄道のほうにも、こういった形でそういった意見の要望が出ておるか確認をした上で、また、えちごトキめき鉄道のほうに要望していきたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

パターン、あるいはダイヤの関係等いろいろあるかと思えますけれども、やり方によって時間が長くなるんですけど、例えば親不知のほうまで行って帰ってくるとか、そういったこと、レールの延伸ですわね、そういったことも含めて考えてもいいんじゃないかと思うんですけども、そういった話は出てますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

えちごトキめき鉄道のほうには、今のダイヤを改正するよとということに要請をしております。今度は違ったコースとかダイヤということをしておりますけれども、ただ、今、当面は今のままでやっていきたいということでもあります。ただ、そういうことで、乗車率につきましては糸魚川始発のほうは少し悪いんですが、ただ、評判がいいのは糸魚川から積んだ弁当が非常に評判がいいという話は聞いております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ぜひ、その評判を、市のほうでもいろんな手でまた広げていただいて、市内への迂回につなげてもらいたいと。やはり、こういうのは宿泊、あるいは市内への迂回への、いろんなところへどうやって波及させていくかが大事で、先ほどパンフレットの話をしていただきましたけれども、もっと具体的ないろんな活動ができないものかなと思うんですけども、いかがでしょうかね、働きかけ等の考えは。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えいたします。

現状の雪月花の運行ですと、東京から上越妙高に入って雪月花に乗って、その後糸魚川の観光というのが1つのパターンとして考えられ、そのPRに努めております。

今後でありますけども、関西につきましても、JR西日本等と今、協議をする中で、雪月花を利用したプランの造成ができないかどうか、今、調整をしているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤産業部長。〔産業部長 齊藤隆一君登壇〕

産業部長（齊藤隆一君）

現在の運行は、土、日、祝日ということであります。今、交流観光課長の話は、平日も含めて、いわゆる団体利用もまた含めてということで、土、日、祝日だけでなく、もう少し平日の活用も含めて、大いにいいものを利用していただいて、お金を落とさせていただくということも、これからやはり、考えていきたいというふうに考えています。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

このリゾート列車、もう1個期待されているのは、大糸線の乗り入れ。これはある意味、糸魚川にとっては、相当プラスになっていくんじゃないかと。強力にお願いしたほうがいいんじゃないかというふうに、これができる前からいろんな話の中で出てきたんですけども、この辺のJRへの働きかけ、あるいはえちごトキめき鉄道の考え等はどんなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

見辺建設課長。〔建設課長 見辺 太君登壇〕

建設課長（見辺 太君）

お答えします。

大糸線への乗り入れにつきましては、雪月花がもう始まる前から、大糸線のほうに乗り入れてもらいたいと、行く行くは乗り入れてもらいたいというお話をさせていただいておりますけれども、えちごトキめき鉄道のほうでは、今現在では自社での運行で精いっぱいというご返答でございまして、今後につきましても、また要望をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ぜひ、早く実現するように要望活動をお願いしたいと思います。

北陸新幹線であります。ことしもいろんな働き、事業等考えておられるようなんですけども、昨年からの開業ということでいろいろとされました。昨年と同じ事業もあるようなんですけども、そ

の辺の検証はされての上でのことでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

見辺建設課長。〔建設課長 見辺 太君登壇〕

建設課長（見辺 太君）

お答えします。

開業して1年以上過ぎましたが、その中で昨年、1年目は1年目としていろんな活動やらせていただきましたけれども、その結果を踏まえて今後、どのような形で新幹線利用促進に向けてやっていけばいいかということ、今後、考えていきたいというふうに思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

北海道新幹線が、ことし開業しました。2年目というのは、やはりもう目新しさが薄れてくるので、この夏というのは正念場じゃないかなという気がしているわけで、昨年いろんな打った手を、どう検証して、ことしの夏につなげるかということで、今、伺っているわけなんですけれども、何でこれを今というと、先日、臨時列車が発表されました。去年は「かがやき」だけだったわけなんですけれども、ことしは「はくたか」も加わりました。その加わった「はくたか」の臨時列車の停車駅には、糸魚川は入っていないわけですね。上越妙高も入っていない、隣の黒部も入っていないなら仕方がないかと思うんですけれども、前後の駅は入っていて、糸魚川が抜けてるわけなんですよね。その辺のことを、市のほうではどのように捉えているのかどうか、その辺を伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

見辺建設課長。〔建設課長 見辺 太君登壇〕

建設課長（見辺 太君）

お答えします。

糸魚川市における利用、特に夏場における新幹線の利用を考えたときに、やっぱり糸魚川の観光の目玉としていろんな場所があるわけなんですけれども、その中でやっぱりバスの、2次交通の利活用をあわせて考えていただいて、利便性の高い新幹線をおりた後、そういったいろんなところへ行けるといったところを考えております。

例えば、白馬岳登山バスでございますけれども、7月16日から10月10日まで運行をする予定でございますが、糸魚川駅での新幹線の接続であったり、平岩駅での大糸線の接続を考慮したダイヤといったものを考えて運行しておりますし、また、美山公園とか博物館線なども運行しておりますので、そういったものを使って、新幹線を利用して来ていただいた観光客の皆さんに使っていただきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

補足させていただきます。

やはり、臨時がとまらなかったということは、1年間の中においても、やはりもっと乗降客をふやさないかんといいところだろうということで受けとめさせていただいて、今の答えにつながっていきますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

それを聞きたかったんですね。やはり、ふだんのこの実績が、こういったものに反映されていると。さらに心配するのは、今は臨時列車なだけけれども、今後のダイヤ改正に影響しないかということ懸念するわけで聞いているわけなんです。ぜひ、その辺を踏まえてやっていかないと、糸魚川だけ、どんどんどんどんマイナスの負のほうになっていくということを恐れているわけなんです。ぜひ、その辺も踏まえて今回のこと、昨年よりもずっと大幅に増発されて858本運転される中で、糸魚川へとまらないというのは、非常にショックな出来事と重く受けとめて、今後の利用促進に向けてやっていただきたいという気持ちでありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

ことし新たに利用客推進・促進の中で、通学の補助等を予算にも盛ったりもしました。

隣等のデータを見たら、昨年7月に朝7時台の長野行きの新幹線利用客を上越妙高駅で聞き取り調査をしたんですけども、約4割が通勤・通学と。長野方面に向かって、こういった新幹線利用が多いなということが、改めてわかったんですけども、糸魚川駅でこのような調査というものをされているかどうか。もし、されていればどれぐらいか、あわせてお願ひします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

見辺建設課長。〔建設課長 見辺 太君登壇〕

建設課長（見辺 太君）

お答えします。

新幹線の、例えば観光であるとか、通勤・通学で分けた、そういった調査はしておりません。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

じゃ、ことし新たに予算に盛った通学の補助は、どのぐらい残っているものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤定住促進課長。〔定住促進課長 齊藤喜代志君登壇〕

定住促進課長（齊藤喜代志君）

お答えします。

申しわけございません。手元に資料がないので正確ではないんですけど、たしか5月末ぐらいの状況で問い合わせは8件、それから申し込みがあったのが5件で、その5件がたしか補助金の交付を受けている状況になっております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

私、内容を比べて、上越妙高よりもこちらのほうがいいんじゃないかと思っているわけで、まだまだこれは可能性があるんじゃないかなと思います。やはり、いろんな手を使ってでも、利用促進を、いろんな手を使ってもおかしいんですけども、考えていかなければならないんじゃないかということをお願いをして、騒音のほうに入ります。

騒音ですけれども、出入り口の閉塞工の工事は終わったと。この工事に当たっては、地元住民への説明というのは、どのようにされてきましたでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長（五十嵐久英君）

閉塞工事の説明の件については、すみません、私ちょっと承知しておりません。

議長（倉又 稔君）

暫時休憩します。

午後3時17分 休憩

午後3時17分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を再開します。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

地元のほうにつきましては、この閉塞工事をするということは、昨年から話をしてありました。ただ、今回、工事するに当たりましては、新幹線の中のほうから工事をしますので、特に住民の皆様に、何月からやるよという話はしてなかったというものであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

市のほうでは、やる前から、いつからやるということは把握されていたんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

できるだけ早くということでありまして、鉄道・運輸機構のほうからは、4月ごろには何とかJRと協議してやりたいということでありました。そういったことで、今、4月・5月で大体完了したというものであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ということは、こういう工事が行われたことは、住民は被害住民も含めて知らない方もたくさんおられるというふうに思っているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

新幹線のトンネル付近の人たちは、十分わかっているのではないかなと思います。といいますのは、それをやることによって、騒音・振動が相当、何と申しますか軽くなったというのが実感であります。私も、柱道のほうへ行きまして、その辺につきまして、実際、自分の肌で感じると、昨年から比べると非常に騒音・振動が少なくなっているということでもあります。

それから、該当する家屋につきましては、今度、防音工事もやっておりますので、その辺を全部完了した段階で、もう一度きちんと、実際行ってどれぐらいの程度になったのかということ調査をしたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤定住促進課長。〔定住促進課長 斉藤喜代志君登壇〕

定住促進課長（斉藤喜代志君）

申しわけありません。

先ほどの、新幹線通学定期の補助金の実数なんですけど、私の記憶違いもありまして、正確な数字に訂正させていただきます。

問い合わせは8件、それで交付決定が4件ということになっておりますので、訂正をお願いします。

申しわけございませんでした。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

この騒音問題の1つは、やはり信頼関係。やはり、いかに情報とか説明等が不足してきたかというのを、この場でも再三述べてきました。あわせて今、緩衝工の工事と同時に、確かに住宅の工事もやっております。なので、住民の中では話がないと、工事はいつまでやるんだと、いつになったらやってくれるんだという不信感がそのまま残っていく。やはり、そういうのは信頼関係を損なっていくということ、これまでも何回も言ってきたわけなんですよ。やはり、出し惜しみされてるわけじゃないんでしょうけれども、住民はやはり、その場に毎日暮らしているわけで、困っているわけですので、いろんな情報や説明、あるいは困り事への相談とか、そういったものに乗ってあげてもらいたいということを取り上げているわけなんです、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長（五十嵐久英君）

議員おっしゃる部分もありまして、柱道と下小見の部分で、トンネル内と明かり部分のところに吸音板の設置工事を、今後するということがほぼ固まったということで、先週金曜日とこの15日水曜日ですか、両地区で説明会をするということで実施をしております。それで、そのときには、今まで余り市のほうには声がかからなかったんですけども、うちのほうで、そういう説明会があるんであれば、ぜひ同席しないとうちの対応ができないということで、今回その説明会には同席させていただきましたし、当然、議員おっしゃるように、市民から市のほうへ、やはり直接、機構に言うよりも言いやすい部分もあるうかというふうに思っておりますので、その説明会の中ではそんな話も、機構のほうに言いにくい部分もあることだろうということもあるから、市のほうへ、私ら環境生活課なりが窓口になるから、言ってきてくださいというお話も、あわせてさせていただいてきました。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

住民の中には、市の担当窓口が、この春から変わったこともわからないんじゃないかなと。やはり、その辺しっかりと対応して、信頼関係を築いていただきたいと思います。

市の騒音調査というのはもう、1回ぐらいはされたんでしょうか。それともこれからなんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

環境生活課長（五十嵐久英君）

やはり今、一番騒音が高い、昨年の県の騒音測定の結果、基準値を超えている柱道、小見、梶屋敷で、いわゆる正式な騒音調査というわけではないんですけども、簡易的なハンディの騒音計を使って、現地のほうで騒音測定をさせていただいております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

緩衝工の工事につきましては、例えば柱道につきましては、区の役員の皆さんに説明をし、なおかつ回覧等で工事を周知しております。それから、梶屋敷につきましても、区長さん等に説明をして、関係者に説明を願ったということでありまして、したがって、事前にそういう工事をやるよという話は、周知はしてあると思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

独自調査はされていると。その辺もぜひ、速やかに公開したりして、お願いしたいと思います。それもまた要望しておきます。

農福連携に入らせていただきます。

農業分野と福祉分野なんですけれども、これの糸魚川市内での取り組みというのは、今、どんなぐあいなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

水嶋福祉事務所長。〔福祉事務所長 水嶋文明君登壇〕

福祉事務所長（水嶋文明君）

お答えいたします。

現在、1施設で行われておりまして、稲作それから養鶏を行っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

農福連携の主な形態としましては、障害者施設が農作業を受託する場合と、障害者自身が農家などに雇用されて働く、その2通りがあると言われます。

今のパターンはどちらでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

水嶋福祉事務所長。〔福祉事務所長 水嶋丈明君登壇〕

福祉事務所長（水嶋丈明君）

お答えいたします。

福祉施設のほうで、実施をいたしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ここ最近ですね、農福連携についてマスコミ等でも、新聞紙上等でもよく見かけるわけですが、隣の上越市では、昨年からモデル事業をやっておりますけれども、今、紹介された1事業というのは、モデル事業として、今後どのように展開していくという意味でされているんでしょうか、それとも、たまたま施設がこういうことをやっているということなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

水嶋福祉事務所長。〔福祉事務所長 水嶋丈明君登壇〕

福祉事務所長（水嶋丈明君）

お答えいたします。

こちらのほうにつきましては、モデル事業というような形ではなくて、施設が独自にやっている事業でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

農業サイドから、ご回答申し上げます。

今、福祉事務所長が申しあげました取り組みにつきましては、平成16年に農地法の改正がございまして、ひすいの里産業共生特区ということで、農業参入されたものでございます。今現在、水稲では約2.3ヘクタール、それから養鶏が1,500羽、福祉作業所で取り組みをしていただいております。

その福祉法人が、なりわいネットワークにも会員していただいておりますので、そこで生産されます地鶏をネットワークの会員の中で新たな商品開発をして、販路の拡大に努めさせていただきました。その結果、年2回の養鶏だったわけでありまして、年3回の養鶏にサイクルをふやしまして、生産に取り組んでいただいております。

農福連携につきましては、農家の人手不足と障害者の方々の賃金の向上ということの取り組みが目的とされているわけですが、福祉作業所で勤めておられる方々が、一般就労されて農業法人に勤められるというのが、一番ベストな格好ではないかなというふうに考えております。

ども、そういう道もしっかりと、福祉事務所と連携していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今の課長の答弁を聞きたかったんです。やはり、農家の、今、農業を取り巻く環境と、福祉を取り巻く環境を解消する、また1つのいい例になっていくと思うわけですし、また、国のほうでも、これをすごく推進しているわけでありまして。できれば、今、斉藤課長が言われたように、将来こういったものでまた、農業の雇用の道が開けていくことを期待しているわけでありまして。

こういったことになっていきますと、やはり受け入れる農家のほうも、今度、理解の促進というものが必要になってくる。受託側と委託側の作業のマッチングが必要になってくる。ぜひ、この農福連携を推進してもらいたいんですけれども、今後、庁内での検討というものもあるかと思うんですけれども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（斉藤 孝君）

障害者雇用という部分の行政につきましては、やはり、今、議員言われますように、商工農林水産課と福祉事務所の連携が欠かせないものと考えております。従来ですと、福祉事務所との定期的な、障害者雇用につきます定期的な会議が不足していましたので、今年度からは毎月、会議を持つようにというふうに、担当のほうに指示しておるところでありまして、より綿密な連携を図ってまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

ぜひ、そのようにお願いしたいと思います。

先ほども言いましたように、今度、これは直接、受託側と委託側だけ、農家と福祉作業所ばかりだといろんなミスマッチが出てきて、逆にほごを生じたりとか、それをうまくサポートしていくのが行政じゃないかと思うわけでありまして。ぜひ、この行政の役割というのは大きくなると思いますので、連携をして取り組んでいただきたいことをお願いします。

次、権現荘のほうにお願いしたいと思います。

権現荘の経営計画についてということなんですけれども、権現荘、旧上能生小学校を増改築してつくられた、その設立当初から地域の活性化、雇用、健康、福祉に寄与する中核施設として、地元の上南地域を初め、地域住民に愛され親しまれてきた、なくてはならない重要な施設でありますし、今後もその役割を期待して、これから何うわけなんですけれども、まず、確認をさせていただきますが、今回このことを質問するに当たってネットを調べていたところ、支配人の過去において、講演会をあるところでされています、講師となって。その講師の肩書といたらいいんでしょうか、紹

介のところは経営支援再生コンサルタントというふうにあるんですけども、その視点からの売り上げ増とあるわけなんですけど、大体、こういう経営支援再生コンサルタントという資格そのものがあるのかどうか。また、そういうふう呼んで、自分の講演をされてるのかどうか、それを把握をされてるのかどうかを確認させてもらいたいと思います。

議長（倉又 稔君）

暫時休憩します。

午後3時31分 休憩

午後3時33分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

支配人が、この権現荘に来る前ですけども、シンセイ・ビジネス・コンサルタントさんですかね、コンサルタント会社に勤めておられて、そのときに使っていた肩書ということでもありますけれども、これは正式な国家資格であるとかそういうことではないんだということで、今、確認とれました。〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

この正式なものではないけれども、権現荘に勤めるようになってからも、その肩書でやっていたということでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

支配人の肩書が、それが必要だったかどうかというのはもう全く関係なくて、支配人の職として支配人の仕事をやるということでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

権現荘に勤めていて、よそで講演をするに当たって、そういう売り込みといたらいいんでしょうか、しているということを聞いているわけなんですけど、その辺の実績は、先ほど笠原議員がいる

いろと質問の中にあつたのと、果たして合ってるかどうかということ、先ほど質問を聞いていて思ったから伺ってるんですけども、いかがでしょうか。

議長（倉又 稔君）

暫時休憩します。

午後 3 時 3 5 分 休憩

午後 3 時 3 7 分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

平成 26 年 3 月 19 日、赤倉温泉で講演をやった際に講師をやっておりますけれども、これは権現荘の支配人という肩書で、権現荘の P R も兼ねて行って来たということでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7 番（田中立一君）

これは確認のために。こればかりやっていると時間がもうほとんどないので、すみません、次、伺います。

3 月議会以降、権現荘の経営内容について、市の広報を初め、新聞紙上や月刊誌、あるいは各議員の議会広報などで広く取り上げられて、市民の中でもすごく関心が高まっているところでありますけれども、権現荘、能生事務所、市役所等には、このことについての意見、あるいは苦情を含めて何か寄せられていたら紹介していただきたいと思えます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

3 月議会以降、その権現荘の関係について、私にじかにあつたか、または周辺から入ってきたかということですが、私のところにはじかに聞いておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7 番（田中立一君）

じゃ、何も、広報、こういったことはなつたけれども、市のほうには反応はなかつたというふう

に断言してよろしいわけですね。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

お答えいたします。

たしか、そのものではないんですがほかの意見の中に、権現荘を少し例にして、少しあったかと、私はちょっと記憶いたしております。それ1件、あったかなと思っています。ご意見直通便だったです。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

もう1件伺いたいんですけども、年に二、三回、設備点検ということで、先日もありましたけれども、2日間休みますよね。これは、決められているものでしょうか。それで、どれぐらいの経費をかけてやっているものか。

議長（倉又 稔君）

暫時休憩します。

午後3時39分 休憩

+

午後3時41分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

原能生事務所長。〔能生事務所長 原 郁夫君登壇〕

能生事務所長（原 郁夫君）

施設の定期点検についてですけれども、5月の第3水・木、11月の第3水・木に実施をしております。こちらのほうは、権現荘の冷暖房の給排水の設備の保守点検業務をしております。

経費は、実は日々の点検と、その年2回の点検と合計しまして318万2,000円ということになっておりまして、その4日間の部分だけ切り取るということではできないものですから、総トータルでお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。

7番（田中立一君）

今の質問、かなり高額な経費がかかっているということで、経費の節減ということで聞かせてもらいました。

以上、よろしく願いして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

議長（倉又 稔君）

以上で、田中議員の質問が終わりました。

〔「議長、議事進行」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

古畑議員。

20番（古畑浩一君）

議長、今回のこの答弁は一体、何なんですか。権現荘にかかわる問題になるたびに休憩、休憩、休憩で。これは、円滑な答弁にはなっていないということではないですか。大体、所管の代表者が、後ろへ行って支配人の話を聞かなければ答えられないということは、全体の事務事業を全く理解していない状態で来てるということだ。すると、権現荘の支配人の答弁というのは、代理がきかない答弁ということになりませんか。

もちろん、この件につきましては倉又議長に、前もって答弁者に権現荘の支配人をお願いしますとやったところ、倉又議長はしっかりと米田市長に対して、議会側、議長からの要望ということでお願いをしてありました。

しかし行政側は、その任にならずということで、これは市長が「じゃ、わかりました」ということで、ここに答弁者として置けば、市長さえ同意すればできることなんですよ。だから、本日のこういう遅延状態を予想して、先に何人もの議員が「いや、支配人に対しては、あらかじめ答弁者として用意していただくように」、その要望を受けて、倉又議長は市長にお伝えしたはずだ。

どうするんですか、こんな一人ひとり、この後まだ何人も何人も、権現荘問題に対して質問するのに、一タータ後ろへ、休憩とって行くんですか。こんな答弁ないですよ。議会をばかにするのもいいかげんにしてください。初めてだよ、こんな。1回や2回ならともかく。

これ、議長、どうやってこの議事運営をしていくおつもりですか。

議長（倉又 稔君）

まず、議長に対しての質問ですから、私のほうからまず答えます。

答弁者の要請というのは、答弁者はまず市長が答弁する。それを、幅を広げるために、答弁者を市長が選定するわけですけども、議長のほうは、答弁者はこういう人を答弁者として呼んできてくださいと要請はできますけども、強制力はありません。だから、後は理事者側の判断次第で、私が幾ら「必ず、この人を答弁者に呼べよ」と言っても、これは強制力がないから要請だけの問題でありますので、私の議長としての答弁は以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

古畑議員。

20番（古畑浩一君）

議会を代表する議会の長たる議長が、市長に対して、答弁者として権現荘の支配人を要請したと。しかし、その要請について、行政側は受け入れなかったということですね。多分、こっから少し休